

# メルボルン

## 世界に繋がる都市



CITY OF MELBOURNE

## 伝統的所有者への敬意表明

メルボルン市は、市の管轄域の土地のクリンの伝統的所有者であるウルンジェリ・ウィ・ウルング族およびブヌロン/ブーン・ウルング族を敬意をもって認識し、彼らの過去と現在の長老たちに敬意を表します。

私たちは、彼らがこの特別な場所に対して2000世代以上にわたり維持してきた途切れることのない精神的、文化的、政治的なつながりを称えます。

私たちは、「ウルルからの心の声」声明の招待を受け入れ、共により良い未来を築くために歩み続けることを約束します。

# CONTENTS

伝統的所有者への敬意表明	2
メルボルン — 世界に繋がる都市	6
プロフィール	8
ビジネスに最適	10
知識経済 - 産業能力の概要	15
特別な観光地	16
活気ある自治体 - 革新的な地区	20
エキサイティングなスタートアップとイノベーション文化	22
未来を先取りするスマートシティ	23
メルボルンを世界最高の学生都市に	24
メルボルン市の国際的な関与の取り組み	26
協力して都市の課題に取り組む	29
メルボルン市がお手伝いします	30
連絡先	32

2024年5月

表紙:メルボルンの夜景。写真クレジット: Allan Wilkinson.

## 免責事項

この情報が公開時点での正確性には万全を期していますが、メルボルン市は、時間の経過に伴う情報の誤り、脱漏、または変更に対して一切の責任を負いません。この情報に依拠した結果として生じるいかなる直接的または間接的な損失、損害、または傷害についても、メルボルン市は一切の責任を負いません。



ムンバでの花火：ムンバフェスティバルは文化のおよびコミュニティの多様性を祝うもので、メルボルンで最も長く続いている最大のコミュニティフェスティバルです。  
写真：Adam Reynard.



イラームボイ:ブーン・ウリング族とウイ・ウリング族の言語で、イラームボイは「明日」を意味します。イラームボイフェスティバルは、地元、国内、国際的な先住民芸術家たち相互の関連性と多様性を表現する場です。「トゥモロー・ザ・エクスペリエンス」に出演するジリジリダンサーズ 写真:Tamati Smith - 出自:ヤマジ族 (Badimaya/Wajarri) とマオリ族 (Ngapuhi)

# メルボルン — 世界に繋がる都市

メルボルンはオーストラリアで最大かつ最も速く成長している都市です。ダイナミックなビジネス環境を持ち、世界で最も多文化で世界的に繋がっている都市の一つです。

メルボルン市 (City of Melbourne) は中核自治体として、周辺自治体と共に都市圏を形成しています。私たちは、世界各国の都市と提携して人々をつなぎ、相互の経済発展を促進し、イノベーションを奨励し、気候変動などのグローバルな課題に取り組んでいます。そしてメルボルンのグローバル競争力を高め、地元および国際的なビジネスの機会を提供しています。

メルボルン都市圏は、ビクトリア州の文化、スポーツ、レクリエーション、ビジネスの中心地です。圏内人口は約500万人で、多様性に富み若く、教養レベルの高い労働力があります。

違いを喜んで受け入れ、歓迎するインクルーシブな街です。私たちは世界中から来た人々が住む多文化社会であることを誇りにしています。住民の55%は海外生まれで、70%以上が少なくとも一人の親が海外生まれです。

東クリンの伝統的所有者であるウルンジェリ・ウィ・ウリング族、ブヌロン・ブーン・ウリング族、タウンガリング族、ジャジャウリング族、ワダウリング族にとって、現在メルボルンとして知られているこの場所は、常に政治的、文化的、社会的、教育的な重要性を持つ会議の場所であり、イベントの場所でした。

彼らにとって、この場所はナラームという名で知られています。

## ようこそ

メルボルンは、訪問、勉強、仕事、ビジネスをするのに世界で最も適した場所の一つです。ぜひメルボルンを訪れ、その魅力を探検してください。

## 素晴らしい住環境

メルボルンは「世界で最も住みやすい都市」の一つです。結束力があり、安定した社会と政府、そして信頼できる法制度があります。

発展した経済を持つメルボルンは、安全で国際色豊かであり、質が高く経済的負担の少ない医療、先進的な教育制度、信頼性の高いインフラ、素晴らしいビジネス機会、そして健康的な環境を備えています。

芸術、文化、ショッピング、グルメとワインで知られるメルボルンは、ビジネスと娯楽を上手に融合させる手腕に定評があります。最先端のスポーツ施設を誇るこの都市では、全豪オープン・テニストーナメント、フォーミュラワン・オーストラリアグランプリ、メルボルンカップカーニバルなど、世界トップクラスのスポーツイベントを開催しています。メルボルン国際コメディフェスティバル、ムンバ、メルボルンファッションウィーク、ライジングフェスティバルなど、年間数百万の訪問者を惹きつける多様な文化芸術イベントも開催されます。家族や旅行者が楽しめる遊び場、公園、スポーツ施設も多数あります。

## 力強く高度な経済

メルボルンは、多くの急成長中／新興産業のグローバルな中心地です。特に、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、高等教育、医療および科学研究、情報通信技術 (ICT)、金融サービス、持続可能な都市および産業デザインに優れています。

私たちは、企業、大学、研究機関、政府の利害関係者間の知識共有と協力を促進し、戦略的な事業投資およびインフラプロジェクトを推進しています。また、成長とイノベーションを妨げる規制障壁をなるべく減らすことに取り組んでいます。

## グローバルな課題に取り組むためのパートナーシップ

不平等や気候変動などといったグローバルな課題が増加する中、メルボルン市は持続可能な都市開発のための解決策を共有するために他の国際都市と協力しています。

私たちは、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の自発的ローカルレビュー (VLR) を実行するオーストラリア最初の都市であることを誇りに思います。メルボルンの明るい未来を創造し、この地球をすべての人にとってより良い場所にするために、グローバルな問題にリーダーシップを発揮しています。

## この文書の目的

この文書は、メルボルンの国際的なビジネス拠点としての価値を解説しています。また、メルボルンでの買い付けを検討している国際的な企業に対しては、産業能力の概要を提供します。そしてメルボルンがビジネスを設立する場所として、または地元企業と提携する場所として優れている理由を詳述します。メルボルンがなぜ訪問、勉強、仕事、ビジネスをするのに世界で最も良い場所の一つであるのか、その理由も解説します。さらに、共通の課題に取り組むために世界の友好都市と提携する際の私たちの役割を説明していきます。

メルボルンの国際的な関与についてさらに詳しくは、「グローバル都市としてのメルボルン (Melbourne as a global city)」をご覧ください。



ロイヤルエキシビションビルディングは、1880年のメルボルン国際博覧会を開催するためにメルボルンのカールトンガーデンズに建設されました。この博覧会は、製品やアイデアの国際的な交流の場でした。この時代の同種の建造物としては現存する最古のものであり、オーストラリアで最初に世界遺産に登録された建物です。

# プロフィール

メルボルンは、オーストラリアで最も成長が速く、最も活気のあるビジネス都市です。メルボルン市 (City of Melbourne) は、メルボルン都市圏の中心自治体であり、州都機能を持つ都市政府です。面積は約40平方キロメートルほどで、8つの大学と25以上の技術、工学、医療施設があります。

## メルボルン市のデータ



**159,813**  
人口



**A\$114 billion**  
域内総生産



**480,576**  
雇用



**1251**  
起業件数

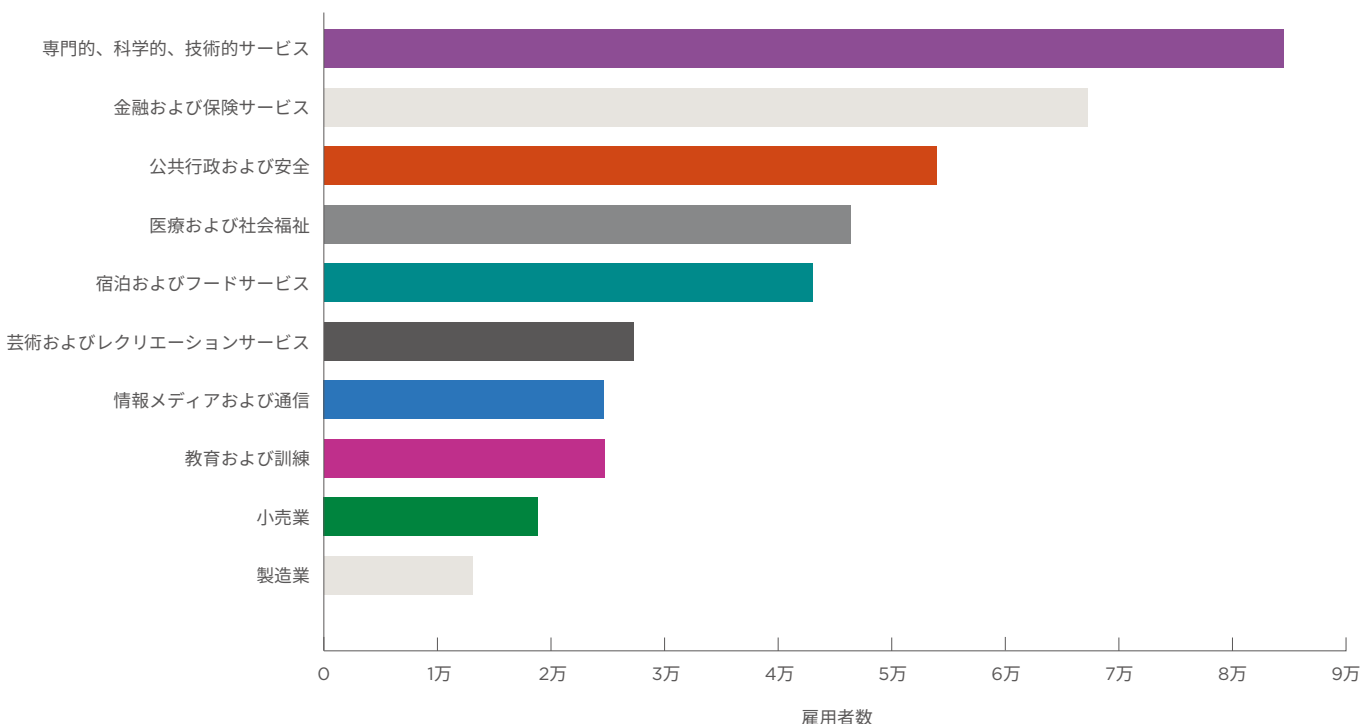


**150+** 使用  
される言語



**100万人以上**  
海外からの旅行者数

## メルボルン市の産業 2022年



出典: Clue 2023

## 2022年現在の人口



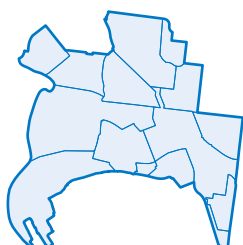
オーストラリアの人口  
**2600万人**



ビクトリア州の人口  
**660万人**



メルボルン都市圏  
人口  
**500万人**



メルボルン市  
人口  
**16万人**



パークストリートモール

# ビジネスに最適

メルボルンは、ビクトリア州およびオーストラリアの経済に大きく貢献しています。2023年には、ビクトリア州総生産の23%、オーストラリアの国内総生産の5.3%をメルボルン市が担いました。

ビクトリア州はオーストラリアの土地面積のわずか3%を占めるだけです、国内総生産の23%を生み出しています。過去10年間のビクトリア州総生産は、平均年率2.71%の成長を達成しています。ビクトリア州はオーストラリアで最も好調な経済であり、過去10年間のうち7年間で経済成長率がニューサウスウェールズ州を上回っています。ビクトリア州は、スタンダード&プアーズでAA評価、ムーディーズ・インベスターズ・サービスでは安定的な見通しでAa2の評価を受けています。



ホージア・レーン、メルボルン

## 活気に満ち、支援態勢の整ったビジネス環境

メルボルンは、スタートアップ、中小企業、およびグローバル企業に対して、積極的で非常に支援的なビジネス環境を提供しています。

2023年、オーストラリアはConway Dataによって世界で6番目に投資に適した国と評価されました。なかでもメルボルンは国内でも最も投資に適した場所とされ、投資先都市として世界で7番目という高評価でした。

オーストラリアの主要15社のうち7社がメルボルンに本社を構えており、その中にはオーストラリア最大の通信プロバイダーであるテルストラ(Telstra)や、オーストラリア四大銀行のうち二つ、NABとANZが含まれています。オーストラリアの国営郵便サービスであるオーストラリア・ポスト(Australia Post)や、オーストラリア政府所有のブロードバンドネットワーク会社であるNBN Coもメルボルンに本社を構えています。

多くのトップグローバル企業がメルボルンにオーストラリア本社を置いています。その中には、アルストム・トランスポート(Alstom Transport)、AIA、アリババ(Alibaba)、アサヒ(Asahi)、BASF、ブロック(Block)、ボンバルディア(Bombardier)、ボッシュ(Bosch)、BUPA、CITICリソース(CITIC Resources)、ダッソー・システムズ(Dassault Systèmes)、ディズニー(Disney)、エレクトロニック・アーツ(EA)、エクソンモービル(ExxonMobil)、GSK、ハンファ(Hanwha)、IBM、インフォシス(Infosys)、JBS、モデルナ(Moderna)、モンデリーズ(Mondelez)、レボリュート(Reolut)、RUAG、シーメンス(Siemens)、トヨタ(Toyota)、トタルエナジーズ(TotalEnergies)、Qenos、ヴァイレッジ・ロードショー(Village Roadshow)、ワールドライン(Worldline)、Zendeskなどが含まれます。

グローバル・イノベーション・インデックスは、メルボルンを世界で最も優れた規制環境の一つと評価しています。世界銀行の『ビジネス環境の現状』報告書では、メルボルンがビジネスの設立と運営が最も簡単な場所の一つとして解説されています。オーストラリアドルは完全に国際化されており、信用供与、ローン開設、資本へのアクセス等にほとんど制限はありません。

オーストラリアは世界で最も社会不安のリスクが低く、健全な法的およびガバナンスの枠組み、安定した政府制度、知的財産権の強力な保護といった条件を備えています。

## 高い教育水準で多様性の豊かな住民

メルボルンはアジア太平洋地域における理想的なビジネスハブです。メルボルン市民の過半数は海外生まれで、70%以上が少なくとも一人の親が海外生まれです。ビクトリア州では260以上の言語が話されており、100万人以上がアジアやヨーロッパの言語を話します。

メルボルンには世界中のほぼすべての国からの住民が住んでおり、非常に多様で教育水準が高いです。人口の半数以上が学士号を持っています。メルボルンはオーストラリアで最も教育レベルの高い都市であり、世界では10番目の都市です。

ビクトリア州には1,100以上の公立・私立の教育訓練機関があり、バイオテクノロジー、医療研究、先進製造業、情報通信技術、水管理、環境およびエネルギー技術、食品分野において専門知識を持つ世界有数の8大学があります。

メルボルンは世界で最も人気のある留学先の一つです。毎年、170カ国以上から16万人以上の留学生がビクトリア州を選んで勉強にきています。

メルボルンはオーストラリアで最も学生に優しい都市であり、クアクアレリ・シモンズ(QS)2024によって世界で2番目にランクされている都市です。毎年、技術、ビジネス、工学、教育、健康資格(学部および大学院の研究)の卒業生数でオーストラリア国内をリードしています。

メルボルン大学はオーストラリアで最も高く評価されている大学であり、2023年のタイムズ・ハイアー・エデュケーション(*Times Higher Education*)世界大学ランキングで世界34位に位置しています。モナッシュ大学は学生数でオーストラリア最大の大学です。

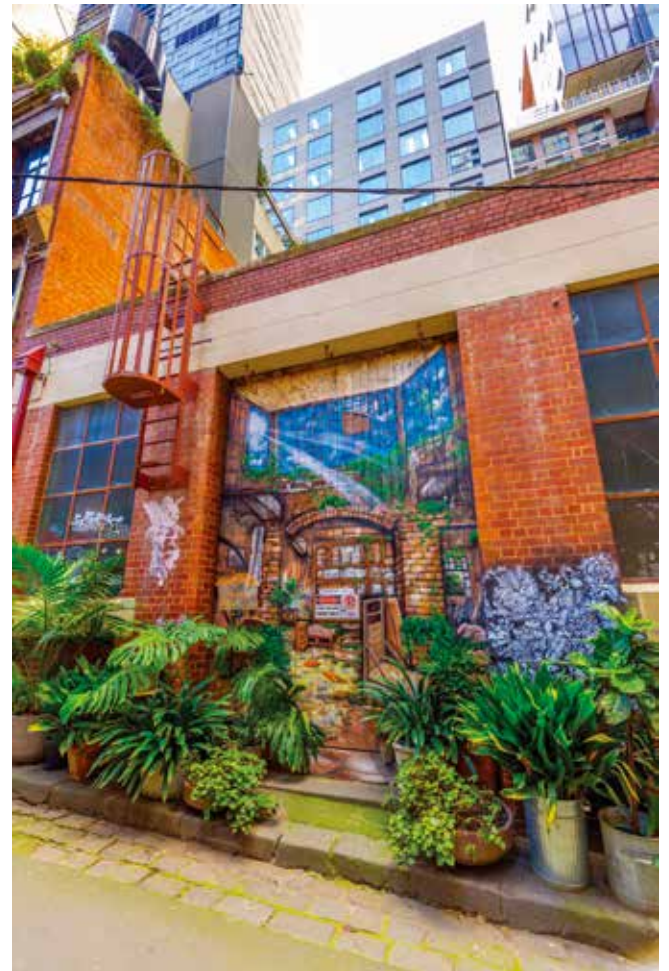
## 世界で最も住みやすい都市の一つ

メルボルンは、オーストラリアのスポーツ、芸術、文化、グルメの中心地であり、年間を通じて常に何らかの世界的な芸術文化・スポーツイベントが行われている場所です。

この街の優れた生活環境に魅了されて多くの人が集まるため、雇用者が優れた人材を採用・維持しやすいです。清潔で安全な環境、世界有数のインフラ、優れた医療と教育、多様なカルチャーシーン、そして現代性と歴史の調和が取れたメルボルンは、生活と仕事に最適な場所です。

メルボルンは、市民活動、創造性、経済、ビジネスの分野でリーダーと目されています。2011年から2017年までの8年間連続で、世界で最も住みやすい都市に選ばれました。2024年には、エコノミスト・インテリジェンス・ユニットの世界住みやすさ指数で第4位にランクされました。

また、2022年には英国の保険会社ウィリアム・ラッセルによって、世界で最もフレンドリーな都市に選ばれました。さらに、Big7 Travelによる評価では、オーストラリアで最もLGBTIQ+に優しい都市であり、世界でも4位にランクされています。



ギルフォード・レーン:ギルフォード・レーンは、産業遺産、無数の草花、美しい壁画がある静かな緑のオアシスです。無機質な工場群だった一帯は、Green Your Lanewayプログラムを通じて見事に新しい命を吹き込まれました。写真: Walking Perspective.

## オーストラリアで最も急成長している州都

メルボルンが提供する有能で急成長を続ける労働力は、ビジネスにとって非常に魅力的です。ビクトリア州の人口は、2023年の680万人から2041年には900万人近くに増加すると予測されています。メルボルンはオーストラリアで最も成長している州都であり、人口は2010年から2020年の間に71万人以上(17%)増加しました。

## ワールドクラスの研究機関

メルボルンには、オーストラリアシンクロトロン、オーストラリア疾病準備センター、アグリバイオ、カーボンネクサスなどの世界有数の研究機関があり、パークビルにはオーストラリア最大のバイオメディカル研究地区があります。オーストラリア全体のバイオメディカル研究資金のうち、40%以上がビクトリア州に投資されています。

## 低いビジネスコスト

ビクトリア州におけるビジネスコストはオーストラリア東海岸沿いで最も低いレベルです。優良な工業用地はシドニーと比較して約36%安く、一等地のオフィススペースのコストは35%低いです。また、メルボルンの給与はシドニーと比較して通常5~10%低いです。ビクトリア州のエネルギーコストは競争力があり、州の給与税率は4.85%と、都市部に限れば全国で2番目に低い税率となっています。

## 近代的で信頼性の高いインフラ

メルボルンはオーストラリアの貨物・物流のハブであり、ウェストワンソンドック(DPワールド)、ビクトリアドック(キューブ)、ダイノン(キューブ)、ACFSロジスティクスなど、複数のマルチモーダル物流センターがあります。また、高速で大容量の通信ネットワーク、安全かつ効率的な道路および公共交通システムを備えています。メルボルンにはオーストラリアで最も先進的な道路および鉄道インフラ、最大の公共交通システム、最大の夜間運行制限のない貨物および旅客空港、最大のコンテナおよび一般貨物港があります。

ビクトリア州は、オーストラリアの他のどの州よりも多額のインフラ投資を行っています。ビクトリア州政府が1千億ドルを計上する「ビッグビルド」プログラムは、州の急伸する貨物需要を支え、ビクトリア州民の移動を促進するために、165以上の大規模な道路および鉄道工事を遂行する計画です。

## アジア太平洋への玄関口

メルボルンはアジア太平洋(APAC)地域の拠点として理想的な立地です。APAC地域には2023年現在、世界の人口の60%、約44億人が住んでいます。オーストラリアの二国間貿易の3分の2は対アジア(2021-22年度統計)であり、輸出の80%がアジアに向かっていきます。オーストラリアの15大貿易相手国のうち12か国がアジアに位置しています。アジアは世界の経済成長の約70%を担っており、その半分を中国とインドが占めています。

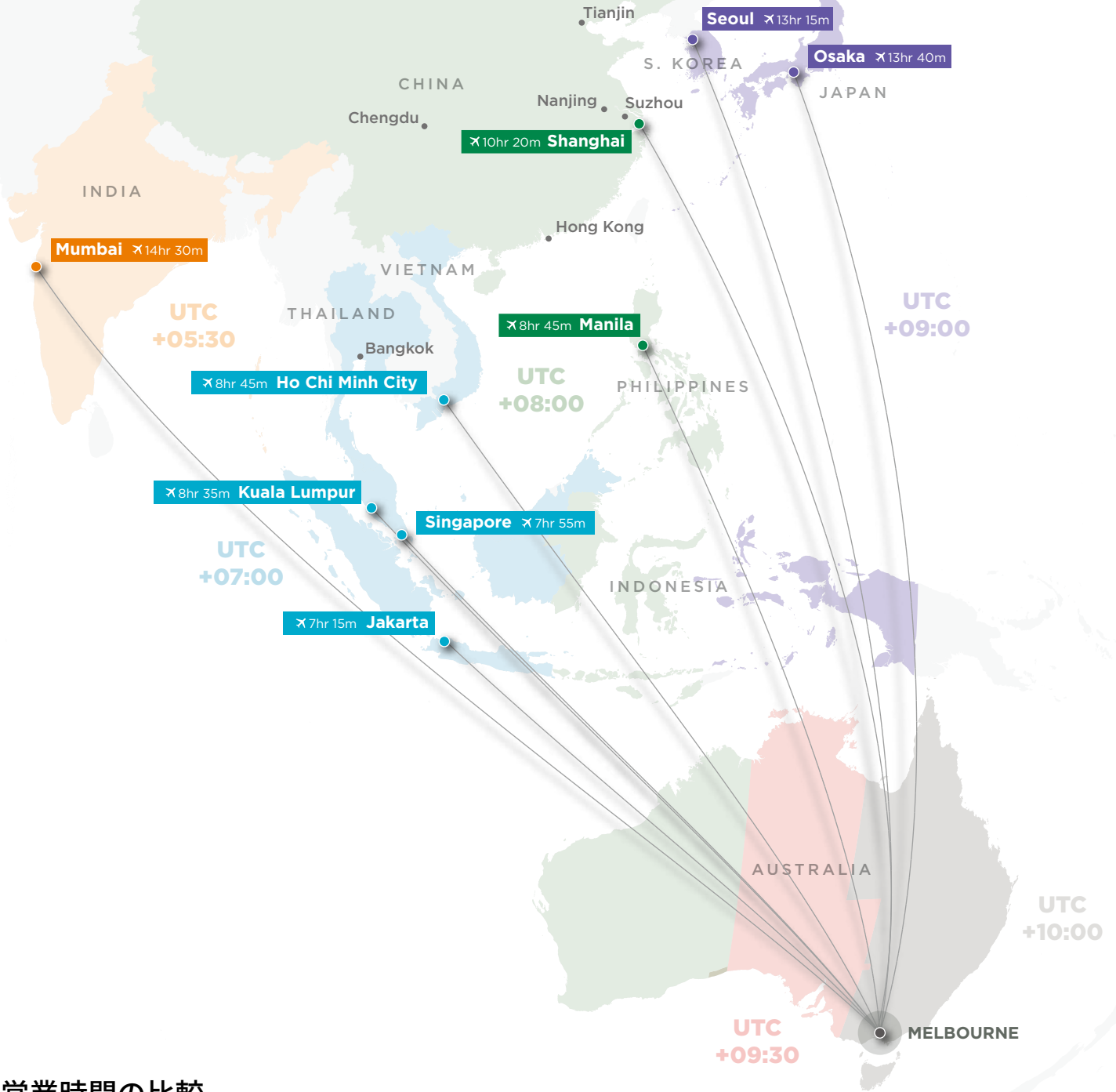


チャイナタウンの旧正月写真: Ray Rays.

技術革新、高齢化、気候変動の影響と人道的危機、都市化と移住などのグローバルなメガトレンドは、国際協力を必要とする課題を提示しつつ、ビジネスにとっての機会も生み出しています。オーストラリアは近隣の主要経済国と自由貿易協定を結んでおり、グローバル企業にとってメルボルンに拠点を置くことはアクセスと機会の向上を意味します。

メルボルンは、多くのAPAC諸国との時差が少なく、時差の大きなヨーロッパやアメリカの時間帯との橋渡しをすることができます。メルボルンはオーストラリア大陸南東部の三角地帯に位置しており、オーストラリアの人口の3分の2と経済活動の61%にアクセスできます。

# メルボルン:アジアへのビジネスハブ



## 営業時間の比較

Melbourne	8am	9am	10am	11am	12am	1pm	2pm	3pm	4pm	5pm	6pm	Time Difference
Osaka		8am									5pm	-1hr
Tianjin			8am								4pm	-2hrs
Bandung				8am							3pm	-3hrs
New Dehli						8:30am					1:30pm	-4.5hrs
London										8am	9am	-9hrs
New York	6pm	8pm										-14hrs
San Francisco	3pm			8pm								-17hrs



# 知識経済 - 産業能力の概要

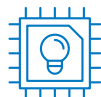
メルボルンは、新しいアイデアや開発を創出しぶつけ合い、革新、経済成長、持続可能性を推進する「知識都市」です。



**生命科学と医療技術** - メルボルンはオーストラリアの生命科学と医療技術の中心地です。該当する産業には、製薬、バイオテクノロジー、医療機器、食品科学、医療機関などが含まれます。オーストラリア証券取引所 (ASX) 上場ライフサイエンス企業の40%以上がメルボルンに本社を構えています。ビクトリア州はオーストラリアの医薬品輸出の60%以上を占め、臨床試験に理想的な条件を備えています。



**グリーンエコノミー** - メルボルンは2030年までに100%再生可能エネルギーに移行し、2040年までに排出量ネットゼロを達成することを目指しています。循環経済ソリューション、都市の持続可能性、クリーンエネルギーおよびインフラプロジェクトにおいて産業能力と投資機会があります。



**技術と革新** - サヴィルズのトップテクノロジー都市ランキングは、メルボルンをオーストラリア最上位、世界第14位の都市と評価しています。メルボルンには裾野の広い技術エコシステム、資本へのアクセス、強力なスタートアップエコシステムがあります。特に、フィンテック、エドテック、デジタルゲーム、スポーツテック、ヘルステック、サイバーセキュリティ、人工知能 (AI)、サービスとしてのソフトウェア (SaaS)、アグテックの分野で強みが際立っています。



**観光とイベント** - メルボルンはオーストラリアで最も人気のある観光地の一つであり、ビジネス、レジャー、イベントのために訪れる旅行者を惹きつけます。文化、グルメ、イベントの中心地として称賛されているこの都市は、ユニークな体験、ワールドクラスのダイニング、そしてビジネスイベントを開催するための洗練されたインフラを備えています。



**金融および専門サービス** - 専門サービスセクターはビクトリア州とメルボルンの経済の最大セグメントであり、会計、広告、建築、コンピュータシステム設計、エンジニアリングデザインおよびコンサルティング、法務、経営コンサルティング、市場調査、プロの写真撮影、科学研究およびテスト、測量および地図作成サービスに幅広い能力を持っています。金融サービス業界は、高いパフォーマンスを誇る銀行業界、重要な資産管理セクター、そして活気あふれるスタートアップコミュニティによって世界をリードしています。



**クリエイティブエコノミー** - 芸術とエンターテインメントの創造と発表のためのあこがれの舞台、メルボルン。歴史的および現代的な会場、象徴的な機関、そして一年中あちこちでイベントが行われているここメルボルンには、映画制作、ゲーム開発、ライブミュージック、文化体験において多くの機会があります。



**教育** - メルボルンは、なじみやすい環境で質の高い教育を提供し、就職機会にも恵まれています。国際教育はビクトリア州の最大のサービス輸出であり、世界中から学生が集まります。オーストラリアで最高の大学がここに立地し、世界各地にキャンパスを展開しています。



**高度製造業** - フィッシャーマンズ・ベンドとパークビルという二つの最先端イノベーション地区を持ち、オーストラリアの先進的製造業と工学のリーダーと認められています。ビクトリア州には国内最大の製造業労働力と裾野が広く多様なサプライチェーンがあります。防衛および航空宇宙、複合材料および先進材料、付加製造、3D印刷、医療機器および製薬などは特に競争力の強いセクターです。

# 観光地としてのメルボルン

メルボルンはオーストラリアの文化、スポーツ、イベントの中心地であり、国内で最も洗練され人気のある観光地の一つです。地元の人々はもちろん、観光に訪れる旅行者も、この街の活気あるエネルギー、トレンドイカカフェ、バーやレストラン、賑やかな市場やファッションブティック、刺激的なギャラリーや博物館、広々とした公園や独特の都市部の街並みを愛しています。

この街のエッセンスは、アートに満ちた路地や豪華なアーケードにあり、忘れられない発見と喜びの旅を提供します。メルボルンのストリートアートには、著名なアーティストであるローネやABOVEの作品などがあります。ユネスコの「文学都市」に指定されているメルボルンは、その文学的遺産と文化が国際的に認識され、称賛されています。

クーリー・ヘリテージ・トラスト、ヤラ川沿いのピラルン・マー公園、メルボルン博物館の受賞歴のあるブンジラカ・アボリジナル文化センター、フィッツロイ・ガーデンズからドックランズの港までのアボリジナル・メルボルン・ウォークなどが、訪れる人をアボリジナル文化についてのさらなる発見に導きます。イアン・ポッター・センターでは、アボリジニおよびトレス海峡諸島民アーティストの印象的な作品を展示しており、Big Esso by Mabu MabuやPawa Café and Barでは、オーストラリア固有の食材のフレーバーを楽しめます。Mapping Aboriginal Melbourneのインタラクティブマップは、この街の豊かな先住民文化と歴史を理解するのに役立ちます。



空から見た全豪オープン  
写真: Nick La Galle.

メルボルンは、世界最高のパスタがいることで知られ、その料理文化も有名です。美食家にはたまらない場所であり、多文化社会を反映しためくめく食のシーンがあります。多くのシェフが先住民の食材を料理に取り入れ、伝統的なレシピに独特のオーストラリア風のひねりを加えています。

メルボルンは自然に囲まれた街です。街から少し車を走らせると、美しいビーチ、受賞歴のあるワイナリー、温泉、荘厳な山々や野生動物であふれる森林があります。ビクトリア州の高原地帯は、夏にはハイキングやマウンテンバイク、冬にはスキーで人気があります。ザ・トゥエルブ・アポストルズやウィルソンズ・プロモントリーは、海岸の美しさで有名な景勝地です。



ランニングマシン(BLEED)、アートハウスにて — 日豪の芸術家ユイコ・マスカワ、サム・マギルブ、ハリソン・ホール、マコト・ウエムラ、カズヒコ・ヒワによるライブパフォーマンス写真: Tiffany Garvie.





ミュージカル「ムーラン・ルージュ」上演中のリージェント・シアター  
写真: Walking Perspective.

## 大きなイベント

メルボルンは、年間を通じて質の高い国際イベント、アートフェスティバル、ライブミュージックや展示会、大人気のショー、著名な展覧会、文化やスポーツの祝典を開催しています。

恒例となっている主要イベントには以下が含まれます：

- 全豪オープン：メルボルン・パークで開催される一年で最初に行われるグランドスラム・テニストーナメント
- F1オーストラリアグランプリ、フォーミュラ1カレンダーの最初のレース
- オーストラリア最大のコミュニティフェスティバル、ムンバフェスティバル
- 新しいアート、パフォーマンス、音楽の祭典、ライジングフェスティバル
- メルボルン・ファッションウィークとメルボルン・ファッションフェスティバル
- 南半球最大の現代音楽の祭典、オールウェイズ・ライブ
- 「オーストラリアを止めるレース」として知られるメルボルンカップ競馬
- メルボルン・フード&ワインフェスティバル
- アート、アイデア、サウンド、テクノロジー、未来の思考を紹介するノウ・オア・ネバー
- 世界最大の単独コメディフェスティバル、メルボルン国際コメディフェスティバル

## 人気のビジネスイベント開催地

メルボルンは、市の中心部にあるメルボルンコンベンション&エキシビジョンセンター、メルボルン&オリムピックパーク、マーベルスタジアム、ショータイムイベントグループの会場など、幅広い柔軟なイベントスペースを擁しています。

メルボルンコンベンションビューローは、世界最大級で最も権威のある国際会議を誘致し、開催する優れた実績を持っています。毎年、国内および国際的な会合イベントを数百件開催しており、主にアジア太平洋地域からの企業総会やインセンティブ旅行プログラムも多数受け入れています。大小さまざまな規模の会議、コンベンション、企業総会、インセンティブ報奨プログラムに至るまで、同ビューローはビジネス開発、入札、イベントサービス、企業会議や旅程の計画、場合によってはイベント誘致のための財政支援に至るまで様々な無料のサポートを提供しています。メルボルンは、ビジネス観光およびイベント産業における持続可能な慣行の採用と認識を促進するイニシアチブであるグローバルデスティネーションサステナビリティインデックス (GDSインデックス) のメンバーです。同インデックスにおいて、メルボルンはオーストラリアで第1位、アジア太平洋地域で第4位、総合で第27位にランクされています。



ノウ・オア・ネバー・フェスティバルメルボルン市のノウ・オア・ネバー・フェスティバルは、先駆的なオーディオおよびビジュアルアート、パフォーマンス、未来思想家、デジタル文化、そして依頼製作作品を通じて、未来の可能性を探求します。

# 活気ある自治体 - 革新的な地区

メルボルンにて、それぞれが独自の専門分野を持つイノベーション地区のネットワークが形作られようとしています。

**メルボルン中央ビジネス地区 (CBD)** は、ビクトリア州の金融およびビジネスの中心地であり、世界的に競争力のあるオフィスやコワーキングスペースを提供しています。オーストラリア最大のCBDオフィス市場であるメルボルンのオフィススペースのコストは、シンガポール、シドニー、サンフランシスコよりも低いです。CBDには活気に満ちた小売業やホスピタリティセクター、世界的に有名なエンターテイメント施設があります。

**ドックランズ** はCBDに隣接し、市街とウォーターフロントをつなげています。オーストラリア最大の都市再生プロジェクトの一つであり、一流の金融および専門サービスのハブとなっています。ドックランズでは、現代的なウォーターフロント・ダイニングやショッピング、エンターテイメントが楽しめます。また、ここにはオーストラリア最大級のグリーンビルディングが集中しており、マーベルスタジアム、ドックランズスタジオメルボルン、11ヘクタールの公園やオープンスペースもあります。

**パークビル** は、CBDから歩いて行ける距離にある世界有数のバイオメディカル研究地区です。パークビルには大病院や研究施設があり、バイオテクノロジーや神経科学を専門分野としてオーストラリアのイノベーション能力に重要な役割を果たしています。この地区は、

毎年オーストラリア全体の競争的バイオメディカル研究資金の4分の1を獲得しており、世界平均の2倍の引用率を誇る出版物を生み出しています。

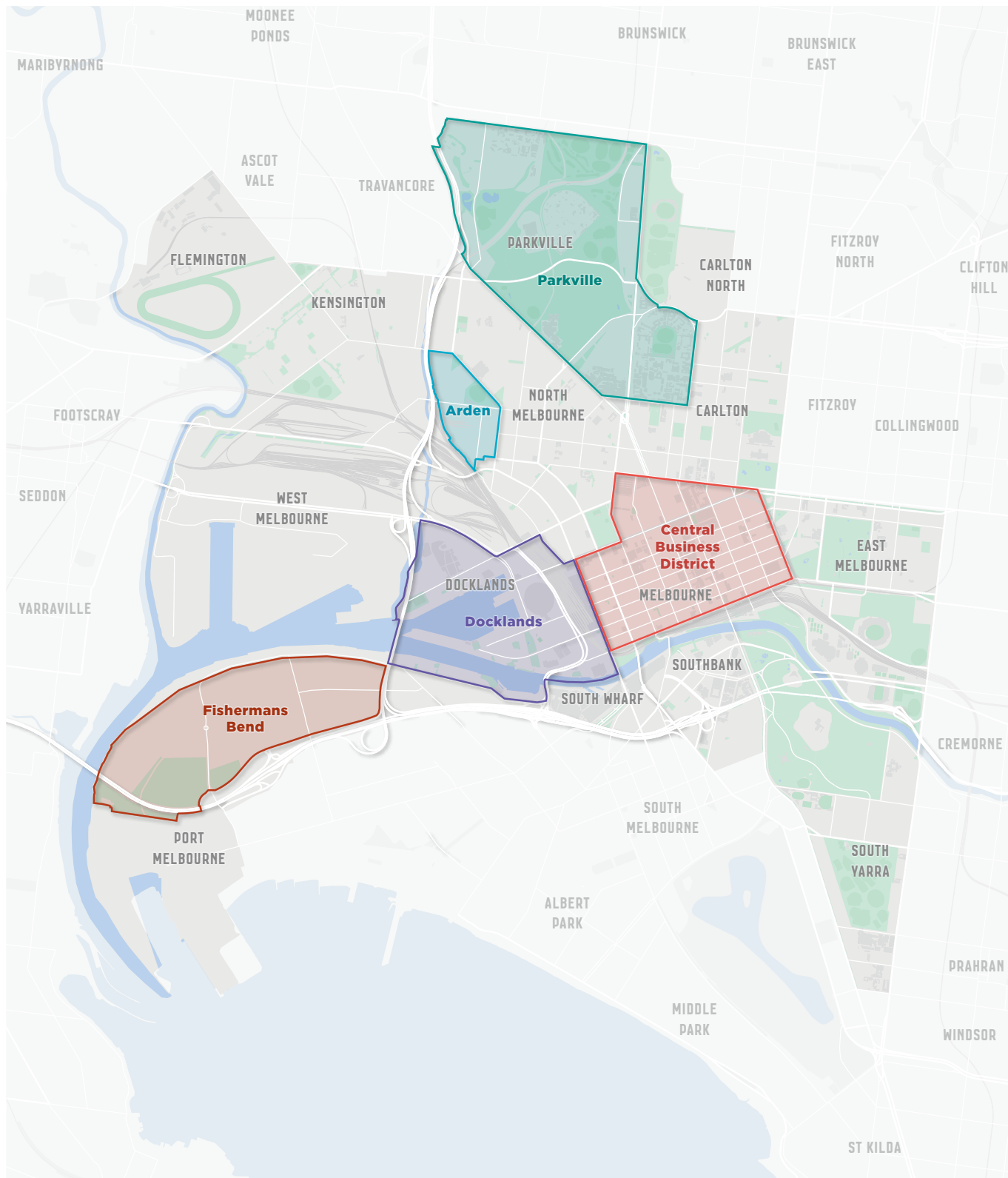
**アーデン** は、市中心部から2キロ以内の北メルボルンに位置する大規模都市再生地区です。計画では人口15,000人の街を創成し、34,000の雇用を提供するとしています。2025年に開業するアーデン駅が最寄り駅となり、2031年にはロイヤルメルボルン病院およびロイヤルウィメンズ病院の新キャンパスが設置される予定です。

**フィッシャーマンズベンド** は、メルボルンCBDのほぼ3倍の規模を持つオーストラリア最大の都市再生プロジェクトです。CBDとポートフィリップ湾を結ぶエリアに2050年までに約80,000人が住み、最大80,000人の雇用を提供する予定です。このプロジェクトは、特に高度製造業、工学、デザインの分野でビクトリア州を世界のイノベーションの最前線に立たせるでしょう。



ドックランズの日の出

## イノベーション地区：メルボルン市



# エキサイティングなスタートアップとイノベーション文化

メルボルンはビジネスを、始め、成長させるのに最適の場所です。当市のスタートアップエコシステムは、2023年のStartup Genome Global Startup Ecosystem Reportのグローバルランキングで6つ順位を上げ、香港、ダブリン、バルセロナ、クアラルンプールといった競合エコシステムを上回る33位に位置しました。急伸するメルボルンのイノベーションシーンには、約3,000のスタートアップ、約500の投資家、そして約50のアクセラレーターが活動しています。

メルボルンのスタートアップは、バイオテクノロジーや医療技術、気候技術、デジタルゲーム、教育工学、スポーツテックといったメルボルンの昔からの強みを生かした産業で特に優れた成果を上げています。

## スタートアップエコシステム間の国際的接続を促進

適切なタイミングで適切なコンタクトを持つことは、あらゆるスタートアップの成功にとって重要です。その認識に立って、メルボルン市はさまざまな起業プログラムを支援しています。

私たちの「メルボルンでスタートし、東南アジアへスケールアップ (START in Melbourne, SCALE to Southeast Asia)」プログラムを通じて、メルボルンのスタートアップ創業者がシンガポール、インドネシア、ベトナムなどの投資家、アクセラレーター、創業者とつながるのを支援しています。メルボルンの教育工学企業HEXと提携し、地元のイノベーションハブでワークショップ、メンタリング、ネットワーキングセッションを提供し、東南アジアのスタートアップハブ、大学、政府との間で仮想接続を実現しました。

2021年には、SPARK Deakin、インドネシアのバンドン市政府、バンドン工科大学のThe Greater Hubとの共催で「メルボルン-バンドン・イノベーションシリーズ (Melbourne-Bandung Innovation Series)」およびピッチコンペティションを開催しました。この仮想セッションでは、包摂的起業家精神、持続可能性、観光、公衆衛生の4つのテーマに焦点を当て、約1000人の専門家、イノベーター、起業家、学生が集まり、共有する都市の課題に対する解決策を模索しました。

メルボルンのテクノロジービジネスの中国進出を支援する「ネクサスピッチコンペティション (Nexus pitch competitions)」を国際パートナー都市南京と共催し、また「アジアマーケットスプリント (Asia Market Sprint)」能力構築プログラムを通じて、スタートアップ企業がアジアへ展開するのを支援しています。ACASEと提携する「ネクスター (NexStar)」プログラムでは、企業と学生が協力して、中国、日本、インドネシア、シンガポールを含むアジア太平洋地域での新たな機会を探ることができます。

## 多様性と目的志向のスタートアップ

スタートアップ天国としてメルボルンのアイデンティティは、ソーシャルエンタープライズ部門とも深く結びついています。メルボルンは、オーストラリア最大のソーシャルエンタープライズの集まりであり、5000を超える組織が約75,000人のスタッフを雇用しています。当地発のスタートアップには、STREAT、KeepCup、Thankyou Group、Movember、Pozibleなどがあります。

メルボルンのスタートアップコミュニティの多様性は、都市そのものの多様性を反映しています。メルボルンは、女性とテクノロジーのための世界最大のスタートアップコンペティションである「シー・ラヴズ・テック (She Loves Tech)」のオーストラリア予選の開催地です。メルボルン市は同コンペティションのオーストラリアにおけるパートナー地方自治体にもなっています。私たちは、女性起業家、移民、留学生など、多様な背景を持つ起業家を支援しています。



Smileyscopelは、デジタル治療法で数々の賞を受賞している企業です。同社の特許取得済みの子どもに優しい仮想現実プログラムは、小児治療に変革をもたらしました。同プログラムは、医療処置中の患者の痛みや不安を軽減することを目的としています。このイノベーションは、世界中の注射を伴う小児治療を革命的に変えました。

# 未来を先取りするスマートシティ

メルボルン市は、ビジネス、学生、住民と協力して、5G、ビデオ分析、AI、モノのインターネット (IoT) など、現在および将来の世代の日常生活を再構築する可能性のある新しいアイデアや技術の開発や試験を行っています。

毎年、参加者がデータと技術を使用して都市の問題に取り組むことを奨励する「イノベーションチャレンジ」を実施しています。最近のコンペティションでは、留学生や卒業生にとってメルボルンをより包括的にすること、廃棄物を最小限に抑え循環型経済を創造すること、障害者にとってメルボルンをよりアクセスしやすくすることなどがテーマに取りあげられました。

ユーザーの行動をよりよく理解し、公共空間の設計と管理に関する情報を提供するために、公園やオープンスペースに設置されたセンサーからの情報をウェブサイト「Participate Melbourne」のライブデータダッシュボードに呈示してコミュニティと共有しています。例えば、同ダッシュボードは、共有道路の利用状況、速度、ピーク使用状況を示しています。

**廃棄物の有効転用** - 低地で洪水被害の多かった地域であるフィッシャーマンズ・ベンドにおいて、再生材料を雨庭に使用するパイロットプロジェクトを実施しています。雨庭は、雨水を一時貯留することで健康な植物の育成とフィルタリングに有効活用し、洪水を避ける役割を果たします。パイロットプロジェクトでは、雨庭が水管理、マイクロクライメイト、土壌および植物の健康に与える影響を理解するためにセンサーを使用しています。

**マイクロラボ**は、地域コミュニティや小規模事業者に対して、デジタル対応の無料でアクセス可能なインクルーシブな会議スペースを提供するために作られました。CBDの中心に位置するパイロットスペースでは、人々が集まり、コラボレーション、共同作業し、イベントを開催またはそれに参加することができます。テクノロジー（スペース内のセンサーを含む）とライブデータダッシュボードを通じたフィードバックにより、ユーザーのニーズに応えることができます。



公共スペース：カールトンの「スマートベンチ」には、使用状況を測定するセンサーが取り付けられており、公共スペースをより良くするための改善方法を探る手立てとなります。写真：Liana Hardy。

# メルボルンを世界最高の学生都市に

メルボルン都市圏内に、170か国以上から16万人以上の留学生在が学んでいます。これはメルボルンを素晴らしい街にする主要な要素の一つです。多くの留学生在が、卒業後もメルボルンに留まることを選択します。留学生在や卒業生は、多様な経験、文化的な洞察、そして豊富な国際的なつながりをもたらします。

メルボルンは、QS世界大学ランキングでオーストラリア最高の学生都市に選ばれ、世界でも4番目に優れた学生都市と評価されています。また、多様性と包摂性、友好性、移動のしやすさ、ナイトライフ、芸術と文化、雇用機会などが高く評価され、「学生体験」分野で世界で2番目に優れた都市と認められました。

メルボルン市は、留学生在が歓迎されていると感じられるように様々な企画を実施しています。また、卒業後の就労権を擁護し、学生同士を繋げ、支援し、力づけ、就業可能性を向上させるプログラムを提供しています。メルボルン市の留学生在プログラムには、毎年12,000人以上の留学生在が参加しています。

**市長の学生歓迎会**は、新しい留学生在を街に迎える無料の年次イベントで、メルボルンの文化生活と多様性に対する留学生在の貢献を称えて祝います。これまでのイベントでは、伝統的なアボリジニ・トーレス海峡諸島人によるパフォーマンス、ラテン音楽、K-POP、ハリウッド音楽、中国の獅子舞などの披露がありました。

**ザ・カウチ**は、留学生在センターであり、友達を作ったり、新しいスキルを学んだり、無料の食事を食べたりするための安全な場所を提供しています。留学生在はボランティア活動を通じて地元コミュニティとつながることができます。ザ・カウチには、40以上の教育機関、48の異なる国から、毎月800~1000人の学生が訪れます。

**マイメルボルン・プログラム**は、観光名所やイベント訪問、舞台裏ツアー、チケットプレゼントなどを含む一連のメルボルン体験プログラムです。メルボルン市のスタッフが、メルボルンカップ、フリンジフェスティバル、オーストラリアンフットボールリーグの試合、インド映画祭、フード&ワイン品評会、芸術展などのイベントに留学生在を同伴します。



国際教育



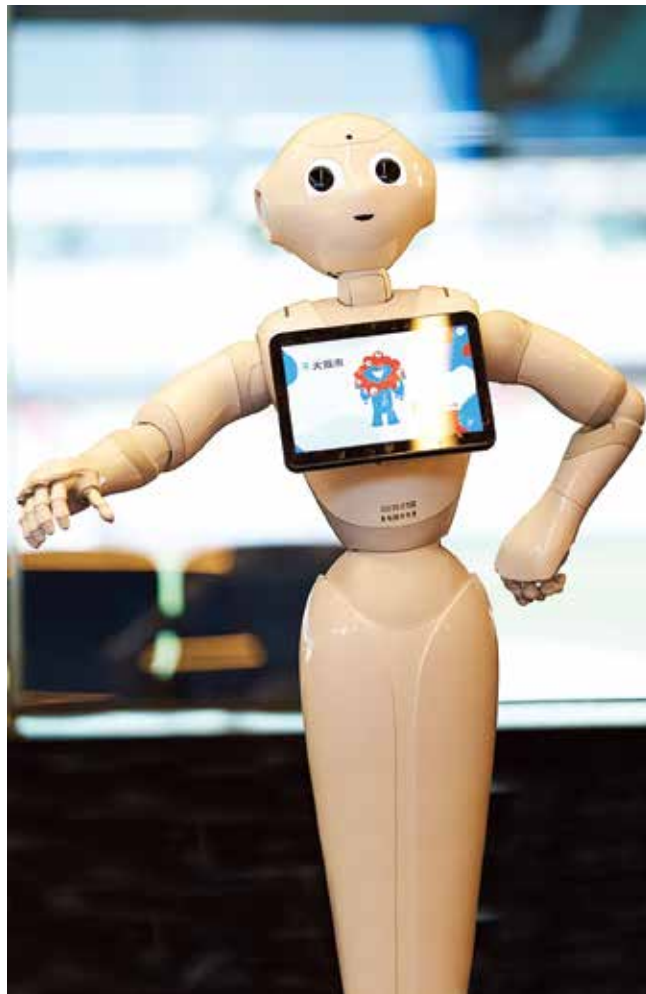
# メルボルン市の国際的な取り組み

## 都市間の関係強化

メルボルンは世界各地の都市と提携し、グローバルなネットワークに参加しています。知識を共有し、イノベーションやビジネスのつながりを奨励し、コミュニティや文化的な交流を促進しています。従来は姉妹都市関係を築いていましたが、現在はより柔軟な関係を通じて相互に利益をもたらす結果を達成するようになっています。

メルボルンは、市としてはオーストラリアで唯一、海外に事務所を持つ自治体です。メルボルン市の天津事務所は、メルボルンの企業や組織と中国の重点地域のカウンターパートとの間の貿易と投資を促進しています。

姉妹都市	<ul style="list-style-type: none"><li>• 日本、大阪(1978年)</li><li>• 中国、天津(1980年) - メルボルン市天津事務所開設(1998年)</li><li>• ギリシャ、テッサロニキ(1984年)</li><li>• アメリカ、ボストン(1985年)</li><li>• イタリア、ミラノ(2004年)</li></ul>
パートナー都市	<ul style="list-style-type: none"><li>• 中国、南京、蘇州、成都</li><li>• インドネシア、バンドン</li></ul>
グローバルネットワーク	<ul style="list-style-type: none"><li>• ジネスパートナーシティネットワーク: 大阪、香港、シンガポール、バンコク、クアラルンプール、マニラ、ジャカルタ、ソウル、上海、ホーチミン市、ムンバイ、メルボルン、天津、オークランド、ハンプルク</li><li>• C40都市</li><li>• カーボンニュートラルシティアライアンス</li><li>• 世界首長誓約</li><li>• ヒートアクションのための都市チャンピオン(アドリエンヌ・アーシュト=ロックフェラー財団)</li><li>• レジリエントシティネットワーク・アジア太平洋</li><li>• 国連アジア太平洋経済社会委員会</li><li>• ワールドシティーズカルチャーフォーラム</li></ul>



大阪・メルボルン姉妹都市提携45周年記念祝賀会で大阪・関西万博2025をPRするロボット「Pepper」写真: Andrew Coulter.

## 使節団・訪問団の行き来の促進

メルボルン市は、新しいつながりを促進し、長期的な関係を育むために、ターゲットを絞った国際訪問プログラムを実施しています。また、国際パートナー都市の市長、議員、代表団による市民およびビジネス訪問も歓迎しています。

## 外国直接投資や人材の誘致

インベスト・メルボルンは、投資家がメルボルンでビジネスの成功を収めるために、各種の支援を行う経験豊富なアドバイザーチームです。市場参入計画の妥当性検証、業界関係者や潜在的なサプライチェーンパートナーへの紹介、ビジネス承認の迅速化、政府支援を含むあらゆるレベルの政府とのアクセスを支援します。「TradeStartアドバイザー」は、メルボルンの輸出業者と海外のバイヤーをつなげます。

## イノベーション支援

メルボルンと国際的なスタートアップコミュニティ間のコラボレーションを促進します。専門家、投資パートナー、イノベーター、起業家、学生を一堂に集め、共通の都市課題を探求し、ビジネスのつながりを作ります。

## 知識の取得と共有

生活の質や持続可能性、スマートシティとイノベーション、リテールとクリエイティブエコノミー、経済戦略とイニシアチブに関する国際的なベストプラクティスを共有します。私たちは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に向けて進展するために協力したいと考えています。

## 交流の促進

文化交流を促進し、学生の芸術交流、招聘制度、イノベーションやデザインの発表会、語り聞かせ等を含むパートナー都市の人々との関係を築きます。また、多文化コミュニティや留学生と関わりを持ち、コミュニティの一体感を育み、エンパワーメントを創出します。

### 「Melbourne City Chinese Flavour」 - メルボルンの中国系移民の物語

2018年、中国人のオーストラリア到着200周年を祝うため、メルボルン市はメディアグループErgengと協力して、ドキュメンタリー映画「Melbourne City Chinese Flavour」を制作しました。受賞歴のあるこのドキュメンタリーは、メルボルンと中国との間の文化、教育、スポーツの絆を示す三つの物語で構成されています。

### 欧州連合国際都市地域間協働プログラム

2023年には、欧州連合、マドリッド市、フィレンツェ市、ブリスベン市からの使節団を歓迎し、都市計画、持続可能な移動、イノベーション地区に関する情報やアイデアを交換しました。欧州連合が主導するこのプログラムは、都市間のパートナーシップと都市問題に関する二国間交流を促進するものです。

### 創造的な遊びがオーストラリアと韓国の子どもたちをつなぐ

メルボルン市の「ArtPlay」は、子どもたち、家族、アーティストを繋ぎます。私たちは、韓国全州市の八福芸術工場と提携し、オーストラリアと韓国の子どもたちやアーティストとともにデジタル作品を制作しました。子どもたちがオンラインで自由に楽しめる英韓両語の三つのストーリー、「奇妙なギャラリー」、「風変わりな親の絵」、「ゴーストパーティー」があります。



ライジングフェスティバル・メルボルン写真: Shannyn Higgins.



# 協力して都市の課題に取り組む

気候変動対策、生物多様性の保護、パンデミックからの回復、都市の耐久力、住宅事情改善、ジェンダー平等、水の安全保障、都市の安全、廃棄物管理など、様々な共通課題に対する解決策を見つけるために、他の主要都市と協力しています。

## 国連持続可能な開発目標 (SDGs)

私たちは、グローバルな変革には地域の行動が必要であることを理解しており、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に向けた進捗を自主的にローカルレビューするオーストラリア初の都市であることを誇りに思います。メルボルンの進捗状況をこのグローバルな枠組みに照らして追跡することで、他の都市と比較検討を行い、長所を共有し、課題への対処方法を学ぶことができると信じています。

### 17の持続可能な開発目標



出典: 国連持続可能な開発目標.

## 気候変動への対応

メルボルンは2030年までに100%再生可能エネルギーに移行し、2040年までに排出量ネットゼロを達成することを目指しています。

メルボルン市の運営は10年以上にわたりカーボンニュートラルと認定されており、主要イベントもカーボンニュートラルに切り替えられています。「メルボルン再生可能エネルギープロジェクト」を通じて、100%再生可能エネルギーを購入しています。過去10年間で、都市の緑化のために毎年3,000本の木を植えました。2017年以来、下層植生を4分の1以上増やし、野生動物の生息地を提供しています。

6つの雨水収集システムに投資し、水使用量の23%を賄っています。公園の拡張と街並みの変更により、都市を緑化し、3,500平方メートル以上の土地の水浸透性を向上させました。2021年に食品および生ゴミ分別回収サービスを開始して以来、1,900トン以上の有機廃棄物を堆肥化しました。

パワーメルボルンプロジェクトでは、コミュニティ向けに中規模バッテリーと再生可能電力供給ネットワークを確立し、再生可能エネルギー都市への移行を加速させます。このモデルをメルボルン都市圏全体、さらにその先に向かって広げていくことを目指しています。

レトロフィットメルボルン計画の下で、既存のすべての建物を2040年までに「ゼロカーボン対応」にする目標を設定しています。ニューヨーク、東京、バンクーバー、シアトル、ボストン、ワシントン、コペンハーゲン、香港などの都市の政策を精査し、レトロフィット(改修)によるゼロカーボンビルへの転換に関する課題に対処するための世界最高の実践イニシアチブを特定しました。

## ホームレス対策

メルボルン都市圏では、脆弱な立場にいる人々を支援するための特別な住宅が不足しています。「メイクルーム」プロジェクトを通じて、市所有の建物をホームレスや路上生活者のための安全で支援された宿泊施設に改造しています。

# メルボルン市がお手伝いします

私たちは、以下のような支援を提供しています：

- メルボルン発の製品やサービスの特定
- メルボルンでのビジネスに関するアドバイスの提供、業界の能力やビジネス機会に関する洞察の共有
- 連邦・州・自治体政府や業界の連絡先の紹介
- 知識の共有および共通する都市課題に関する協力
- 共通の関心を有するプロジェクトの実施におけるパートナーシップの提供
- 留学支援サービスへの紹介

国際チーム連絡先： [global@melbourne.vic.gov.au](mailto:global@melbourne.vic.gov.au)

投資チーム連絡先： [investmelbourne@melbourne.vic.gov.au](mailto:investmelbourne@melbourne.vic.gov.au)



ライジングフェスティバル・メルボルン  
写真: Shannyn Higgins.



## 連絡先

### オンライン:

[melbourne.vic.gov.au](http://melbourne.vic.gov.au)

### 住所:

Melbourne Town Hall - Administration Building  
120 Swanston Street, Melbourne

営業日: 月～金  
(公休日を除く)

### 電話:

+61 3 9658 9658

営業日: 月～金  
(公休日を除く)

### ファックス:

+61 3 9654 4854

### 郵便宛先:

City of Melbourne  
GPO Box 1603  
Melbourne VIC 3001  
Australia



### 通訳サービス

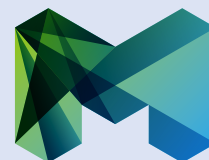
あらゆる背景の人に対応します  
電話番号 +61 3 9280 0726

+61 3 9280 0717 廣東話  
+61 3 9280 0719 Bahasa Indonesia  
+61 3 9280 0720 Italiano  
+61 3 9280 0721 普通話  
+61 3 9280 0722 Soomaali  
+61 3 9280 0723 Español  
+61 3 9280 0725 Việt Ngữ  
+61 3 9280 0726 عربي  
+61 3 9280 0726 한국어  
+61 3 9280 0726 हिंदी  
+61 3 9280 0726 All other languages

### ナショナルリレーサービス:

聴覚障害のある方や発話障害のある方は、ナショナルリレーサービスを通じてお電話ください。テレタイプライター (TTY) をお使いの方は 1300 555 727 におかけいただき、+61 3 9658 9658 に繋ぐよう頼んでください。  
受付時間: 月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで (公休日を除く)

[melbourne.vic.gov.au](http://melbourne.vic.gov.au)



CITY OF MELBOURNE